

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 16 日 (18 : 00～19 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 山田、吉岡、長川、国居、磯野、藤井、松田、北本、玉野、岩佐

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1 人	1 人	1 1 人	1 3 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者、計画作成担当者のスケジュールを他職員にも公開し、初回面談の時間を全職員で協力しながら確保する。 ・早めのスケジュールリングで、管理者だけでなく、担当になる介護職員も利用前に関わられるような機会を持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス開始前の面談では管理者以外が関わることがほとんどなかった。職員にサービス開始前に直接的な関わりを持たせることが出来ず、新規者への情報共有の意識付けを高めることが出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		5	4	4	1 3
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	6	2	2	1 3
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	5	3	1	1 3
③	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	5	4	1	1 3

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・サービス開始前の聞き取り (ご本人様、ご家族様)、は何とかできている。サービス開始直後も職員が特に意識して声掛けをし、不安がないか不満がないか情報収集している。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・なぜこの支援が必要なのか? その必要性や理由付けを分かりやすく全職員へ伝えることが出来ていない。 ・部署移動や退職があり、職員の安定が図れず、現場に余裕がなくサービス開始前に現場職員がフリーで動ける時間を取ることが出来ていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・支援の必要性や理由付けを分かりやすく書面のみではなく口頭でも全職員に伝える。 ・担当をサービス開始前に決めることによって、職員の意識付けや開始後のモニタリングにつなげていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 16 日 (18 : 00 ~ 19 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 山田、吉岡、長川、国居、磯野、藤井、松田、北本、玉野、岩佐

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	6 人	7 人	13 人

前回の改善計画
・アセスメント時に、必ず本人の望むことを伺い、全職員に周知する。

前回の改善計画に対する取組み結果
・サービス開始前に、『何を一番したいですか?』と必ずご本人様に聞いてはいたが、それを全職員に伝える方法が徹底されていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	3	2	3	5	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	5	2	3	3	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	5	4	3	13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?			7	6	13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・定期ミーティングでカンファや新規利用者の情報共有を行っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・定期ミーティングに参加できないパート職員などは、情報を議事録で確認することとなり、全職員への周知徹底とはなっていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
・アセスメントシートに『～したい』の実現という項目を作り、全職員で情報共有する。又その実現のためには何が出来るか、職員に問いかけて考えてもらう。
・新規ご利用開始月の定期ミーティングで新規者の情報の一つとして、～したいという気持ちがあることを伝える。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 16 日 (18 : 00～19 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 山田、吉岡、長川、国居、磯野、藤井、松田、北本、玉野、岩佐

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	3 人	10 人	13 人

前回の改善計画
・生活歴や習慣について、アセスメントシートに必ず記載し、全職員に周知する。

前回の改善計画に対する取組み結果
・アセスメントした情報は、その都度申し送りノートやケア綱目、口頭で伝えていたつもりだったが職員には認識されていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		4	3	7	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	7	2	1	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	2	6	4	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	6	4	2	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	6	4	2	13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・申し送りノートやケア項目の中で、生活歴や支援の理由、必要性、注意点を伝達している。これまでにない変化（言動）も、すぐに申し送りノートまたは業務日誌に記載している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・アセスメントシート自体や記入する職員のアセスメントの基準が統一できていなかった。また定期的みでなく、変化があった時の対応が遅れた。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
・統一した形式でのアセスメントシートを作り、ご本人様のこれまでの暮らしぶりが分る記述を残し、カンファレンスの中で伝えていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 16 日 (18 : 00～19 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 山田、吉岡、長川、国居、磯野、藤井、松田、北本、玉野、岩佐

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	2 人	1 人	10 人	13 人

前回の改善計画

- ・運営推進会議にて、地域で活用できる資源や人脈についての情報提供をお願いします。
- ・地域資源の活用状況については、随時運営推進会議にて報告する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・運営推進会議では、情報のやり取りはあるが、その会議の意義や必要性、その内容を職員が理解出来ていない。また、具体的に全職員が取り組める計画が必要と思われる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	6	5	1	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	4	6	1	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	5	4	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	5	7	13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・自社のイベントへの参加でご家族同士の交流に取り組めた。
- ・ご家族と同居のご利用者様に関しては、必要に応じ連絡帳を用意しデイでの様子を伝えたり、自宅での様子の情報を得たりしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・民生委員や地域資源の把握、活用が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・運営推進会議の内容を、ミーティングの中でも伝えていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 16 日 (18 : 00～19 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 山田、吉岡、長川、国居、磯野、藤井、松田、北本、玉野、岩佐

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	4 人	9 人	13 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を通して、参加者から、活用できる地域資源を紹介していただく。 ・利用者の近隣にも挨拶を行い、情報を得やすい関係づくりを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議では、意見交換は行えているが実際に地域資源を活用するには至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		5	4	4	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		9	3	1	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	7	2	3	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	7	3	2	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人の状態や体調、気持ちの変化にすぐに対応できるように常にご利用様を観察しており、それに合わせた対応もできている。少しの気づき等その都度報告し、周知できている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の活用が出来ていない。 ・『柔軟な支援』については、介護保険上の問題もあり積極的には出来ていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の方に挨拶を行い、情報を得やすい関係づくりを行うに関しては、引き続き計画に入れる。 ・地域資源の活用を増やす。(ご家族、近隣の方、ボランティア、民生委員、福祉委員、サ高住職員、有償ヘルパー等) 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 16 日 (18 : 00～19 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 山田、吉岡、長川、国居、磯野、藤井、松田、北本、玉野、岩佐

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3 人	人	10 人	13 人

前回の改善計画

- ・自治体や地域包括支援センターが主催する会議や研修には、時間調整して参加する。
- ・地域活動への参加職員が固定化しているため、新しい職員にも参加の機会を設ける。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・退職や人事異動などで、思うように時間調整が取れず、会議に参加できていない。
- ・パート職員が増員しており、勤務体制が限られるため地域行事参加可能な職員も限られている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		3	2	8	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2		3	8	13
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	3	4	1	5	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		2	4	7	13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・事業所の職員として地域行事 (お祭り、清掃活動、立哨等) のお手伝いには定期的に参加している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・運営推進会議以外の地域会議には参加できていない。
- ・ご利用者様が地域行事に参加できていない。
- ・登録者以外の高齢者や子ども等が来やすい雰囲気づくりや声掛けが出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・1年間を通し、まずは1行事からでもよいのでご利用者様と参加する。
- ・地域住民 (子供さんや登録者以外のご家族等) が事業所を訪れる方法はないか? 職員で検討し、実施可能なものを実際にやってみる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 16 日 (18 : 00～19 : 00)

7. 運営

メンバー 山田、吉岡、長川、国居、磯野、藤井、松田、北本、玉野、岩佐

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	2 人	2 人	9 人	13 人

前回の改善計画

- ・年間の事業計画策定に当たっては、全職員の集まる場で議題に挙げ、意見を反映させる。
- ・地域活動の予定に合わせて現場スケジュールを調整し、勤務時間内で地域活動に参加することで、これまで参加が難しかった職員にも活動機会を設ける。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・年間計画、月間計画には職員の意見を反映させる事ができた。
- ・地域活動へは固定の職員のみ参加となっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	4	3	4	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		9	3	1	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		3	5	5	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	4	2	6	13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・意見や苦情は、職員間で共有し、その後の対応に活かしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・積極的に地域の介護拠点になるような取組みを行っていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・運営推進会議に管理者のみが参加するのではなく、他の職員にも参加していただき地域の方の生の声を聴く場を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 16 日 (18 : 00 ~ 19 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 山田、吉岡、長川、国居、磯野、藤井、松田、北本、玉野、岩佐

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2 人	1 人	10 人	13 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所として、勤務日を当てて参加できる施設外研修を 3 件以上実施する。 ・地域連絡会に参加し、得た情報を職員会議で報告、運営に生かす。 ・職員会議でリスクマネジメントに関連した時間を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・施設外研修に 3 件以上参加することはできた。 ・地域連絡会への参加はできていない。リスクマネジメントについては、定期ミーティングの中で研修として行ったが、その時限りという感がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	2	3	5	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	2	3	6	13
④	地域連絡会に参加していますか		2	1	10	13
⑤	リスクマネジメントに取り組んでいますか		4	2	7	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の定期ミーティングの中で、テーマを決め資料を用意し、施設内研修を行っている。また、本社のコミュニティホールを使って、自社ケアマネによる介護保険についての研修や外部福祉用具によるオムツ研修も行った。施設外研修にも参加した。 ・ヒヤリハット、事故報告書は全職員で確認し、情報共有している。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・施設外研修に関しては、現場の人員にある程度余裕がないと業務として参加することは難しい。スキルの高いパート職員もいるが、勤務時間が限られており外部研修参加は難しい。 ・地域連絡会には参加できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・定期ミーティングの中で、引き続きリスクマネジメントを入れる。 ・定期ミーティングの内容、確認としていつも参加の難しいパート職員に関しては昼間の時間を使い意見交換、情報共有を行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 16 日 (18 : 00～19 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 山田、吉岡、長川、国居、磯野、藤井、松田、北本、玉野、岩佐

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	5 人	人	8 人	13 人

前回の改善計画

- ・ホールのレイアウトを、個別対応も可能な場所を設けるなど工夫する。
- ・情報ファイルの整理。必要な情報のみを保管する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・ホールのテーブル配置については、ご利用者様の相性や言動に合わせ組み合わせを考えながら、適宜変えることができた。
- ・書類整理については、少しずつ継続して行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	12		1		13
②	虐待は行われていない	12	1			13
③	プライバシーが守られている	6	6	1		13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	6	2	1	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	5	2	1	13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・身体拘束や、虐待は行われていない。
- ・現在登録者の方で、成年後見制度を活用中の方が 1 名、任意代理人による財産管理をしてもっている方が 1 名いる。
- ・書棚には施錠を行い、個人情報の保護に努めている。
- ・尊厳を守り、個別対応するなどの工夫をしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・介護の知識や技術が未熟な職員もおり、プライバシー保護や拘束にあたるかもしれないという認識を持たない職員もいた。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・記録書類については月単位でまとめ、年度単位で保管していく。
- ・人権に関しては、『ことば』での虐待がないかを含め、ご利用者様に対する言葉遣いについて適切に行う。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(株) エポックワン	代表者	大西 益男	法人・事業所の特徴	<法人> こもればの杜グループは、日々感謝の気持ちを持ち、ご利用者様の尊厳を守り、命と生活の担い手となり、安心、安全、健全な運営の実現を目指します。 <事業所> 利用者様の御希望や思いをしっかりと御聞きした上で個人のスタイルに応じたサービスを提供させて頂いております。又押しつけのプログラム等は無くゆつくり御過ごし頂く中で自立支援を行います。
事業所名	小規模多機能型住宅介護	管理者	山田 敬二		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	0人	0人	1人	1人	1人	0人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	評価に時間的余裕を持つ。時間的余裕があれば、1,2回/週の夜勤兼務者にも回答を求められたかもしれない。	<ul style="list-style-type: none"> ・H29.11月のミーティングより自事業所評価に取り組んだ。 ・各項目に於いて出来ていないがほとんどなので、計画の立て方自体を見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「なんとかできている」「あまりできていない」「できていない」という意見が多いので初歩的・具体的な計画を立てたらどうか。 ・計画なので具体的であり、期間や評価期日があった方が良いのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の計画を初歩的・具体的なものにする。 ・12月の会議までに自事業所評価をまとめ発表し2月の会議の中で意見を集約する。
B. 事業所のしつらえ・環境	玄関周りにお花を置いたりして近寄り易い明るい雰囲気を作る。整理整頓をする。事業所内を案内する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ハード面では、雰囲気づくりに努めている。事業所内の整理整頓も少しずつ進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の場が併設の施設であるので、当事業所の中の様子が分らない。会議の時に写真でも見れないか。 ・職員自身がしつらえや環境について、こうありたい等の希望や感覚を持つ事が大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お花のある明るい環境づくり、事業所内の整理整頓を継続する。 ・会議終了後、会議のメンバーに事業所内を案内する。
C. 事業所と地域のかかわり	地域行事に色々な職員が参加できるようにする。そういう活動から地域と事業所をつなげていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・少しずつではあるが、特定の職員以外の者も地域行事に参加し始めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所の内部の様子が分らないので、スタッフの様子が分らない。地域行事参加が特定の職員になっているなら、その負担が心配である。 ・地域との関わりは積み重ねだと思うので、事業所が相談しやすい場所になっているか、地域に問う機会があれば問うてみたらいいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事に今まで関わっていない職員も行事に参加する。特に新職員等。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域行事に御利用者様と参加する。ご近所の介護相談を受けるような機会を設ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様を事業所内に閉じ込めてはいないが、地域行事参加は来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者情報は、会議の報告を通じてしかわからないので、会議の時に行事の写真等を見せて頂けるとよいのだが。 ・ご近所の心配な方に関わることはとても難しいことだと思われるので地域に出向く機会があった時に当事業所をアピールすればよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンディでの活動の様子を写真等で会議の中で報告する。 ・何か一つからでよいので、ご利用者様と地域行事に参加する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事例検討を会議の中に入れていく。会議のメンバーに若いお母さんなど新しい方が参加できないか検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の中で事例を紹介し、ご意見を頂いた。 ・会議に新しいメンバーを加えることは来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議自体にはあまり活気がないのではないか。概していうと面白くない気がする。地域の色々な声を聞くものとして少しでもお役にたてればと思う。 ・会議で地域の方と事業所で意見交換されている様子をよく見かけます。会議は事業所の様子を地域の方に知ってもらう良い機会、当会議には地域の代 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議での事業所活動報告はよく出来ているので、これを継続して行う。

			表の方が出席されているので、大変有効であると思います。その関係性を大事にしてください。	
F. 事業所の 防災・災害対策	<p>年2回の防災訓練のうち、1回は地域の方に参加して頂く。事業所で作成している防災計画書を会議で公表し、ご意見を取り入れる。</p>	<p>・今回は防災訓練時、地域住民の方の参加は無かった。準備不足が大きい要因であり、事業所内外に防災計画が周知徹底されていないと感じる。</p>	<p>・職員さんはもう少し自信を持って、地域にある事業所は地域の一員としてもっとアピールしましょう。防災訓練の年2回の内、1回は実際に即した訓練を希望します。</p> <p>・会議には本当の近所の方が参加されていない。この人たちが事業所の防災計画を知っているのか？知っているのなら災害時に有効なことも多いのでは。立地的に土砂災害に注意が必要だが、津波や豪雨災害では地域の避難拠点になれるのでは？避難を受け入れると同時に事業所の避難にも協力してもらえる体制を整える等検討してみてもは。</p>	<p>・会議の中で、事業所防災計画（火災、風水害、地震等）のマニュアルを公表し、周知を図る。</p> <p>・年2回の防災訓練の内、1回は地域住民の参加もしくは実際に即した訓練を行う。</p>